

IDENTITY

日本の家は、ダイニングとリビングを区切ると圧迫されてしまう傾向があります。限られたスペースの中で、空間をいかに広く使えるか。その方法をつきつめて考えたときに、日本の昔ながらの一家団欒の風景が浮かびました。ひとつのちゃぶ台をかこみ様々な暮らしのシーンをいろどる生活。それは、ときにダイニングルームとなり、ときにリビングルームとなってお客様をもてなす場となりました。そのような効率的に過ごすための昔ながらの工夫を、現代の生活と融合させて新たな生活スタイルとして蘇らせました。

